

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告 (第64回)

実施日時:2016年11月30日(水) 10:30~14:30

参加者:

豊田先生、金子先生、廣岡先生、中田先生、その他+クラブ員(13)=18名

活動場所:園芸療法ガーデン

スケジュール:

10:30~ 花壇維持管理、草取り

12:00~13:00 昼食をとりながら懇親

13:10~ ミニ講座『ワイヤートンボをつくってみよう!』

※カラー針金を使って、手づくりを楽しみましょう。講師;門田さん(16期)



【今後の予定】 (変更の場合
がありますので、案内メールでご確認をお願いします。)

<2016> 12/21*

<2017> 1/18* 2/22 3/22

毎月第4水曜日

*ただし、12月・1月は、第3水曜日

キャンパス内外の木々の紅葉が深まり、青空の下に映える11月末日が例会日です。

定刻になってミーティングが始まりましたが、この時期、やはり肌寒さが感じられ、徐々に増えたメンバーは、おのずと陽だまりに集まりました。

今日の作業は、豊田先生の指導のもと、展示ゾーンでこれまで伸びて褐色になった枝や茎などの剪定や刈り込み、引き抜きが中心で、ミント類やローズマリーなどハーブの香りや味覚の花壇、フジや藤棚下など池周辺、ユーパトリウムやシランなどの触れる花壇などこのゾーン全般が対象です。カリン、フェイジョアなど実りの秋の名残やキンカンの黄や緑の果実が目立つ園内は、冬を迎える装いになりました。

最後に落ち葉を掃き集め、一気に作業を終え、体はいつの間にカホカホカと汗ばむほどでした。

また、実習園の花壇はALPHA祭前に園芸療法課程の皆さんが植え付けた、ビオラ、ハボタンなど黄やピンクなどの彩りと、キンセンカやムギなど葉のみどり鮮やかです。

午後には、県下N市から100人を超えるシルバー人材センターの皆

さんが来校予定とお聞きし、さっぱりした園芸療法ガーデンを楽しんでいただきたいという想いが伝わればと思います。

昼食からは、前のラクウショウの紅葉が盛りの東作業室に移り、HさんとSさんの小野市陣屋まつりで振舞われる地元の小麦“ふくほのか”と白玉粉の団子入りの具だくさんの暖かいお汁は格別のごちそうでした。差入れ・持ち寄りの今豊漁のイワシの煮付けのほか、自家栽培のミカンやキウイフルーツ、園内のフェイジョアの試食などデザートにも堪能しました。

午後のミニ講座は、メンバーの門田さんを講師に、アルミのカラーワイヤを使ったトンボづくりに挑戦しました。青、赤、緑、ゴールドなど色も豊富で45cmの長さからラジオペンチなどで曲げ、約4cm強の丈のトンボの目、羽、胴体をつくり、安全ピンに巻きつける作業です。形を整える手先の器用さは、練習・慣れ次第ということで、宿題を持ち越すメンバー多数でした。最後にトンボは、安全のため、胸周りには付けないよう注意があり、細かな配慮の大切さも教わりました。

今日も、あっという間の楽しい一日でしたが、たいへんお疲れさまでした。
世話人: 植田 (12/2記)